

女子美術大学大学院 博士前期課程

平成28年度

インタラクティブ空間演習

school

skhole [ギリシャ] ⇨ schola [ラテン]

意義のある余暇

後に〈学校〉

- “school” (学校) の語源
 - ギリシャ語 スコレー (scholē) 閑暇 かんか
 - 閑暇(スコレー scholē) ↔ 仕事(アスコリア ascholia/ 閑暇の不在)

「閑暇とはたんに暇な時間ではない、また、仕事の疲れを癒す休息でもない。閑暇は、人間が学問や芸術に専念し、幸福を実現するための、自由で満ち足りた時間である」

加藤守通「第2講 哲学と教育」、『教育思想史』今井康雄(編) 東京:有斐閣アルマ、2009年、46頁。

自己紹介

- 石井 拓洋 (いしい たくよう)
ishii05042 (a) venus.joshihi.jp
- 専門
 - 音楽文化学研究
 - アメリカの音楽と文化、映画音楽の意味論的考察
 - 作曲
- 学部時代 = 作曲
- 修士時代 = 映画研究、英米文化研究
- 博士時代 = 20世紀アメリカ文化 と 映画音楽の意味論考察

メニュー

- オリエンテーション orientation (方向づけ)
 - 研究的視点の必要性
 - なぜ「記号論」か？
 - 表現と「記号論」
 - 授業説明
 - 授業メンバーの確認

研究的な視点

研究的視点の必要性

- 研究とは？
 - 〈世界〉を知る
 - 〈世界〉から「意義問題点を見い出す
 - 先人たちの議論をふまえる
 - あらたな知見を提示する
 - 目的は〈新しい世界像〉を提示すること

研究的視点の必要性

- 意義のある問題意識を得るには？
 - 世界を深く知る (歴史を知る、文化を知る、思想を知る、)
 - 先人たちの問題意識を知る (作家、思想家、研究者、)
 - 多様な **物事の見方を知る** (「思考の枠組みをさがす」)
- とにかく **「インプット」(知識の取得) が重要**
- 大学院時代は、**安易な「独創性」へ逃げない。**

研究的視点の必要性

- 意義のある問題意識を得るには？

→ 「思考の枠組み」の一つとしての「記号論」 semiology

なぜ「記号論」か？

なぜ「記号論」か？

- 記号 (sign)
 - 視覚や聴覚を伴うものによって、何らかの対象を示すもの

【記号論の前提】

→ 「言語」と、その「指示対象」には
必然的なつながりはない

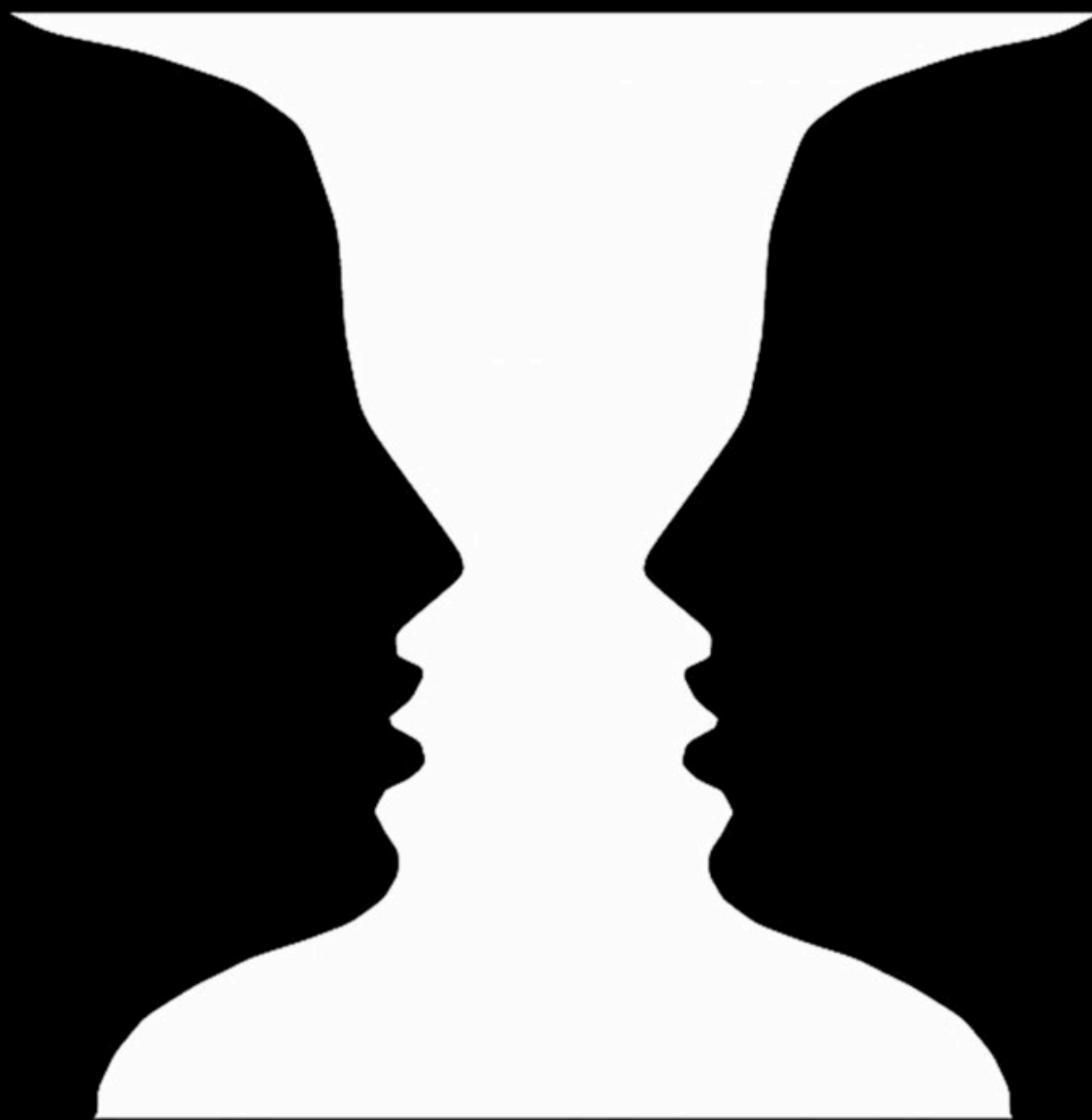
なぜ「記号論」か？

「言語論的転回」 Linguistic turn

- ・虹のなかの色数の認識にしめされるとおり、「言語」から対象の認識と意味がつけられる
- ・この議論を学的に基礎付けるのが「記号論」
- ・「実体論 から 関係論へ」
- ・意味作用のなかの歴史性・権力性へのまなざし

なぜ「記号論」か？

「表現行為」の根幹となる「記号」と「意味」を
人間社会のインタラクティブな営みから探ることで
あらためて「アート」の在り方について考えてみたい。



「ルビンの壺」(多義図形)

<http://d.ibtimes.co.uk/en/full/1426245/rubins-vase.jpg?w=736>

「すべての見えるものは、、、

図と同じような意味では見えることのない

地を含んでおり、、、」

(出典)メルロ・ポンティ「見えるもの—見えないもの」
『見えるものと見えないもの』滝浦静雄、木田元訳、
東京:みすず書房、1960年 = 1989年、360ページ。

figure and ground

具体的な授業説明、ほか

(シラバス参照)

(メンバーのメールアドレス確認 など)